第6学年に組

社会とつながる子供を育てる社会科学習

単元名「江戸の社会と文化・学問」 令和2年11月11日

蘭学とはどのような学問なのかを学習しました。調べたり、話し合ったりする中で、 蘭学とは、ヨーロッパの学問を研究する学問で、蘭学の発展に貢献した人物やその功 績が分かりました。また、蘭学の発展が、現在の医療や地図につながっていることも 分かりました。

めあて: 蘭学とは、どのような学問なのだろう。

① 本時のめあてをもつ ②めあてについ

予想をする

江戸時代の前の人体解剖 図や地図と、蘭学が広まった後の人体解剖図や地 図を比べることにより、 「蘭学とはどのような学 問なのだろう。」をめあ てに設定し、予想をしま した。





蘭学を広めた人,支えた人 という視点をもちながら, 杉田玄白,前野良沢,伊能 忠敬の功績について,調べ ました。

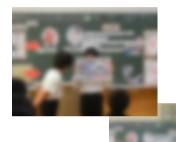
③蘭学を学んだ人とその功績に

いて調べる



グループで調べたことを話し合いました。 視点を基に話し合う姿が多く見られました。

クラス全体で話し合ったことを共有しました。「解体新書」の出版を機に蘭学を学ぶ人が増えたことが分かりました。





蘭学とは、オランダ語の書物を通じてヨーロッパの学問を研究する学問。 医学・天文学・地理学などの新しい知識や技術を杉田玄白、前野良沢、伊 能忠敬らが広めた。

板書

